

樹木医と歩く縄文の森

氷河期が終わり温暖な気候になった縄文時代は、ミズナラやコナラ、ブナをはじめとする豊かな落葉広葉樹林が広がっていました。それは現代の青森を構成する森林と同じであったといわれています。はるか昔からこの土地に存在している植物を観察しながら、縄文時代から受け継がれてきた知恵を確認していきましょう。

【三内丸山遺跡内でみられる縄文植物】

【凡 例】

(食)・・・食用とされてきた植物

(木)・・・建築や土木用材に使用された植物

(道)・・・生活道具(縄、柄、器等)に使用された植物

◎ブナ科

・コナラ属

ミズナラ (食)

コナラ (食)

カシワ (食)

・ブナ属

ブナ (食)

・クリ属

クリ (食・木・道)

◎ムクロジ科トチノキ属

トチノキ (食)

◎クルミ科クルミ属

オニグルミ (食・道)

◎レンプクソウ科ニワトコ属

ニワトコ (食)

※毒があるため生食は不可



ク リ



ミズナラ



コナラ



トチノキ



ニワトコ

【× モ】

◎ウルシ科

- ・ウルシ属
ヤマウルシ (道)
- ウルシ (道)
- ・ヌルデ属
ヌルデ (道)

◎ブドウ科ブドウ属

ヤマブドウ (食・道)

◎マタタビ科マタタビ属

サルナシ (食・道)

◎ニシキギ科ニシキギ属

マユミ (道)

◎カバノキ科

- ・カバノキ属
シラカンバ (木)
- ・ハンノキ属
ハンノキ (木)

◎シダ植物

ワラビ、ゼンマイ等
(食・道)

◎バラ科

- ・キイチゴ属
モミジイチゴ、ナワシロイチゴ等 (食)
- ・サクラ属
オオヤマザクラ、ウワミズザクラ等 (食・道)



ウルシ



ヤマウルシ



ヤマブドウ



サルナシ



シラカンバ

【× モ】